

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>キャピリア TB-Neo 陰性結核菌群と NTM が同時に検出された 1 症例 (2024002)</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>検査技術部 樋口翔大</p>
<p>利用目的</p>	<p>キャピリア TB-Neo は結核菌群が特異的に産生する MPB64 を標的とする免疫クロマトグラフ法であり、当院細菌検査室では培養陽性となった抗酸菌が結核菌群であるかを同定するために使用している。MPB64 濃度が検出限界以下の場合や MPB64 遺伝子に変異が生じた結核菌群の場合には偽陰性となるとされているが、その頻度は稀である。本法陰性の結核菌群に遭遇し、かつ NTM も同時に検出された非常に珍しい症例を経験したので学会発表を行い、本法陰性を理由に結核菌群を否定することがないよう啓発する。</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>研究の対象者は当院に入院されていた患者様で、学会開催日の令和 6 年 6 月 22 日までを対象期間とする。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>該当患者様の診療録より得られる情報と抗酸菌検査結果をまとめ、学会発表を行う。</p>
<p>問合わせ先</p>	<p>代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>患者様の情報開示は年代と性別、診断名、および喀痰抗酸菌検査結果に留めるため、個人が特定されるなど患者様への不利益は生じないと思われまます。</p>